

# キラットさん

BE AMBITIOUS

秋田桂城短期大学 1年

富樫 大 さん



このコーナーには初お目見えの秋田桂城短期大学。男子学生が登場するのを意外に思われたかたはいませんか？ 看護学科のイメージからか、女子短大だと思いついでいる市民も少なくないようですが、実際は男女共学の短大なのです。看護学科にだって、看護士を目指す男子学生がいるんですよ。

ところで、今回ご紹介する富樫さんは人間福祉学科に在籍しています。大館商業高校時代から福祉に興味を持ち、この短大を選んだのだとか。「卒業後は介護施設で働きたい」と真剣なまなざしで話してくれました。「机上の論理は通用しないといわれるこの道ですが、私は負けずぎらいなので絶対にそんなことは言われたくありません。



せん。福祉施設での実習を通じてどんどん経験を積んでおきたいです」とすでにファイトは十分。

彼は初めての大学祭となる「逢星祭」の実行委員長でもあります。大学で学ぶ学生や教職員と地域住民をそれぞれ輝く星に例え、それが寄り集まることによってさらなる輝きを創り出したい、そんな願いを込めて彼が命名した「逢星祭」。今月五日・六日の両日開催されます。学内のサークルによる催しや模擬店、ストリートバスケの大会などイベントが盛りだくさん。中でも目玉は、六日に行われる記念講演です。人間福祉学科の教授による『いじめの心理』と看護学科の教授による『O-157の細菌学』は、どちらも非常に興味深いテーマ。「ただお祭りというだけでなく、一緒に考えていただく部分も用意してお待ちしています。ぜひ皆さんでおいでください」とPRしてくれました。

## 私の本棚

中央図書館新着図書



「死の医学」への日記

柳田 邦男 著

新潮社

ある日突然、進行したガンと診断されたら、人はどう生きるか。「自分の死を創る時代」と現代を語る著者。この十年余りの間に著者の身近なところで起きたことや、取材で出会った人々の生と死を通して、深く考えつつ記録した日記。生と死にこだわり続けてきた著者の、よりよく生きるために死を考える一冊である。

### 一般書

- ◇走れ国定忠治(朝倉喬司) ◇幕末崎人伝(松本健一) ◇されど修羅ゆく君は(打海文三) ◇大厄病神(西村寿行) ◇江戸の庶民が拓いた食文化(渡邊信一郎) ◇怪談人恋坂(赤川次郎) ◇映画で読むシェイクスピア(森祐希子) ◇香山リカのきょうの不健康(香山リカほか) ◇天の伽藍(津本陽) ◇私語辞典(柳美里) ◇父と母の昔話(日本エッセイスト・クラブ編) ◇心を贈る絵手紙の本(小池邦夫) ◇卵を割らなければオムレツはできない(明坂英二) ◇自由基督教の運動(赤司繁雄) ◇正岡子規(梶木剛) ◇金田一耕助の帰還(横溝正史) ◇八ヶ岳キッチン(みなみらんぼう) ◇黄昏綺譚(高橋克彦) ◇はみ出し銀行マンの悪徳日記(横田濱夫) ◇帝揚羽蝶命名譚(今井彰) ◇お楽しみはこれからだ6(和田誠) ◇コドモ界の人(石坂啓) ◇夏を追いかけて(ボブ・グリーン) ◇成功する人の時間術(ユージン・グリースマン) ◇詐欺とペテンの百科(C・シファキス) ◇悪趣味百科(ジェーン・マイケル・スターン) ◇メアリー、メアリー(エド・マクベイン) ほか

### 児童書

- ◇るすばんはこりごり！(山本さゆり) ◇びっくりたまご(レオ・レオニ) ◇からすじぞう(たじまゆきひこ) ◇おてがみもらったおへんじかいた(森山京) ◇でっかいさんぼ(とよたかずひこ) ◇メイベルおばあちゃんは19歳(アリータ・チャードソン) ほか

### 10月のテーマ関連図書コーナー

- ◇10月のテーマ関連図書コーナー・・・鉄道旅行
- ◇親子読みかせ会・・・10月4日(金) 14時30分
- ◇中央図書館の休館日・・・10月10日、20日、24日